

区画整理の影響を受けて、長年、過ごしてきた家の隣に新居を建てることにしたご夫婦。「終の棲家」の建築を依頼したのは、和風住宅を得意とする、技術力に定評のある地元の建築会社でした。

ゆったりと暮らせる広さの平屋を希望していたご夫婦は、理想とする間取りのイメージや具体的な要望を担当者に伝え、プランを固めていきました。そうして完成したのは、ご夫婦にとって暮らしやすい環境を整えた上で、木の風合いを生かしながら随所に和の要素を取り入れた住まい。2本の立派な大黒柱が建物を支え、安心感をもたらしています。理想とする住まいを実現したご夫婦、新たな暮らしへの期待に胸を膨らませています。

DATA

家族構成：夫婦
竣工：2024年11月 構造：木造軸組工法
延床面積：92.74㎡(28.05坪) 1F 92.74㎡(28.05坪)
設計・施工：株式会社 田村建設
※建築主様のご要望により平面図は省きます。

この家を建てた企業の情報は P106～



1. 掃き出し窓から明るい光が差す。い草畳と杉板を張った天井の居間。 2. 「着替えが楽になるように」とのご夫婦の要望を受けて、洗面脱衣室に木製ベンチを造作。 3. 檜の床材を採用した、伸びやかに広がる玄関ホール。大容量の造作棚(写真中央)を配した。 4. ダイニング・キッチン檜のカウンターの隣に床の間を配置。床柱は紫檀、床板には榿、落とし掛けはカリンを採用。 5. 建物をL字型にして、北側道路に面して駐車スペースを確保。ポーチは一部に銅板を採用するなど、和の要素も取り入れた。 6. アプローチは緩やかな傾斜のスロープに。両側に手すりを取り付けるなど、安全面にも配慮している。

伝統的な和の雰囲気をもたえる 伸びやかに広がる平屋

株式会社 田村建設

伊勢崎市 M邸

格天井の杉板の木目が美しい玄関ホール。腰壁も杉、式台には榿を用いるなど、木の風合いを生かしたデザイン。